



# 議会だより



平成 23 年小矢部市消防出初式

ことし1年の無火災を祈る小矢部市消防出初式が平成23年1月6日に中央町地内などで、消防車両25台が出動し、消防団員や消防職員ら約300人が分列行進やはしご登り、一斉放水を披露しました。

## 11月臨時会の概要

11月26日の1日間を会期として開催しました。

小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正1件が上程され、原案のとおり可決されました。

## 12月定例会の概要

12月9日から22日までの14日間を会期として開催しました。

初日は平成22年度小矢部市一般会計補正予算(第3号)など議案11件、最終日には議員提出議案7件、人事案件3件が追加上程され、計21議案を原案のとおり可決しました。

なお、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成21年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案も認定しました。

また、陳情8件の処理報告、議員派遣の可決を行いました。

## 目次

概要	.....	1
審議経過	.....	2
可決議案	.....	3
人事案件	.....	3
代表・一般質問	.....	8
請願の処理状況	.....	8
委員会報告	.....	9
3月定例会の日程	.....	9
会務報告	.....	10
編集後記	.....	10

### 11月臨時会の審議経過

26日 本会議(提案理由説明・質疑・討論・表決)

### 12月定例会の審議経過

9日 本会議(提案理由説明)  
 全員協議会  
 議案調査日  
 議案調査日  
 議会運営委員会  
 本会議(代表・一般質問)  
 本会議(一般質問)  
 行財政改革特別委員会  
 民生文教常任委員会  
 まちづくり特別委員会  
 産業建設常任委員会  
 総務常任委員会  
 委員長会議  
 議会運営委員会  
 全員協議会  
 本会議(質疑・討論・表決)

## 11月臨時会で可決された議案

(条例の一部改正)

議案第39号 小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正について

## 12月定例会で可決された議案

(決算認定)

- 認定第1号 平成21年度小矢部市一般会計歳入歳出決算  
 認定第2号 平成21年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算  
 認定第3号 平成21年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算  
 認定第4号 平成21年度小矢部市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算  
 認定第5号 平成21年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算  
 認定第6号 平成21年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算  
 認定第7号 平成21年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算  
 認定第8号 平成21年度小矢部市水道事業会計決算

(補正予算)

- 議案第40号 平成22年度小矢部市一般会計補正予算(第3号)  
 議案第41号 平成22年度小矢部市老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号)  
 議案第42号 平成22年度小矢部市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(条例の一部改正)

- 議案第43号 小矢部市手数料条例の一部改正について  
 議案第44号 小矢部市総合会館条例の一部改正について

(その他)

- 議案第45号 小矢部市ケーブルテレビネットワーク施設の指定管理者の指定について  
 議案第46号 小矢部市総合会館の指定管理者の指定について  
 議案第47号 小矢部市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について  
 議案第48号 小矢部市文化スポーツセンター等の指定管理者の指定について  
 議案第49号 砺波地域消防組合の設置について  
 議案第50号 高岡地区広域圏事務組合理約の変更について

(追加議案・議員提出)

- 議員提出議案第21号 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書  
 議員提出議案第22号 T P P交渉参加反対を求める意見書  
 議員提出議案第23号 農林業普及事業の継続と予算確保を求める意見書  
 議員提出議案第24号 平成23年産米における生産数量目標の見直し等を求める意見書  
 議員提出議案第25号 地方財政の充実を求める意見書  
 議員提出議案第26号 北朝鮮による韓国砲撃等を非難し経済制裁の延長、強化を求める意見書  
 議員提出議案第27号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

(追加議案・人事案件)

- 同意第4号 小矢部市副市長の選任同意について  
 同意第5号 小矢部市教育委員会委員の任命同意について  
 同意第6号 小矢部市教育委員会委員の任命同意について

### 組合議会議員の選挙

### 人事案件

◎富山県後期高齢者医療広域連合議会議員(指名推選)

さくらい もりお  
桜井 森夫 氏

次の方々の選任同意及び任命同意を行いました。

◎小矢部市副市長の選任同意 たかぼたけ しんいち  
高畠 進一 氏(高岡市)

◎小矢部市教育委員会委員の任命同意 つやま げんりょう 氏(西中)  
にしなが つとむ 氏(平田)  
西永 勉 氏(平田)

# 代 表 質 問

新政友会 尾山 喜次 議員

## ◎市長の二期目の就任について

【問】二期目の抱負とマニフェストについて伺う。

【答】定住促進プロジェクトを初めとする12の重点プロジェクトを基本に、本市の重要課題に積極的に対応したい。特に、石動小学校改築事業や石動駅南土地画整理事業の大型事業を確実に遂行する。また、おやべ型1%まちづくり事業もさらに市民が活用しやすいよう工夫を凝らしたい。二期目においても、協働のまちづくりをより一層推進していく。

【問】全国縄文サミットの開催、桜町JOMONパーク及び新美術館の整備について伺う。

【答】平成23年度の縄文サミットは、平成11年の開催以来、二回目の本市の開催と決定された。内容は検討中であるが、10月上旬の開催を予定している。全国からの参加者には、桜町遺跡の体験学習等の拠点として現在整備を進めている桜町JOMONパーク、小矢部ふるさと歴史館をはじめ、俱利伽羅古戦場などの市内の史跡や名所も案内したい。新美術館の整備は、展示機能と規模、場所、財源確保を調査し、進めたい。

## ◎新政友会の重点要望について

【問】「義仲と巴」の大河ドラマ化について伺う。

【答】長野・富山・石川各県ゆかりの地で構成する「義仲・巴」広域連携推進会議を中心に、ゆかりの地ネットワークづくり、NHKへの働きかけなど各方面からのアプローチを行う。

【問】人口増対策について伺う。

【答】市内転入者が新たに住宅を取得された場合に、上限100万円、中学生以下一人につき10万円の上乗せなど、定住促進助成を拡充している。次年度に向け、事業効果を検証し、改善・検討を行いたい。

【問】企業誘致について伺う。

【答】本市のすぐれた立地環境を県内外へ情報発信するとともに、引き続き、市長が先頭に立って積極的な企業誘致活動に努めたい。

【問】少子高齢化対策について伺う。

【答】一層子供の産み育てやすい環境づくりに取り組む。また、高齢者を地域全体で支える地域ケア体制の充実を図りたい。

【問】俱利伽羅トンネルの拡幅と歩道の新設について伺う。

【答】必要な社会資本整備を計画的に進めていくために、事業の必要性を関係機関等へ強く訴えていく。

## ◎石動駅周辺開発について

【問】駅南都市計画事業の進捗状況と問題点について伺う。

【答】石動駅南土地画整理事業は平成27年度の事業完了に向けて、今年度末進捗率が27%と順調に推移している。今後は、大規模工場などの移転もあり、組合と十分協議しながら事業を執行したい。

【問】石動駅南北の連携や歩行者車の道路整備について伺う。

【答】駅南北の一体化を図るために歩行者用自由通路や駅南駐車場整備を複数案作成し、費用対効果などに配慮しながら検討したい。自動車連絡道は必要と考えるが、並行在来線の運営会社との検討が必要である。

【問】新幹線開通に伴う石動駅並行在来線の現状と対応について伺う。

【答】富山県並行在来線対策協議会の経営専門委員会で、経営形態などの検討が進められており、平成23年3月までに運行計画や運賃水準、人員などをまとめた経営基本方針が示されると考えている。

## ◎農業政策について

【問】国の発表では、富山県の平成23年度産米の生産目標が全国で4番目の削減率となったが、市当局も強力に反対すべきでないか。

【答】県への割り当ては、需給調整

を守らない県にペナルティーを課さず、まじめに取り組んだ市内の農家の努力が反映されず大変遺憾だ。県などと連携し、生産数量の復元措置を国へ働きかけたい。

【問】TPP参加をめぐる議論が進んでいるが、導入の場合、農村が崩壊し、日本の食料自給率が大きく低下する。今後の市当局の対応策を伺う。

【答】食料自給率向上への道筋や農林水産業の振興のための具体的な政策の提示を求めるとともに、経済連携に耐えられる対策を確立した上で、TPP交渉への参加、不参加に関して、慎重に議論されるよう国へ働きかけたい。

## ◎雇用対策について

【問】新卒者の就職雇用の現状、就職支援センターの開設について伺う。

【答】砺波公共職業安定所管内の高卒予定者は、10月末現在、求人倍率1.58倍、内定率は88.4%でいずれも前年同月を上回っており、平成23年3月末にはほぼ100%の内定率を見込んでいる。また、就職支援は、富山県非正規労働者等総合支援センターによる相談会を毎月市役所で実施している。就職支援センターの開設は、全国の先進事例を調査研究し検討したい。

# 代 表 質 問

新風会 島田 一朗 議員

## ◎「道の駅メルヘンおやべ」の新しい構想について

【問】駐車場の拡張、稲葉山頂上と一直線に結ぶロープウェイの建設、早咲き桜の植樹、周辺農地を利用した貸出農園の実施、くつろぎの畳の間の設置について伺う。

【答】開花時期の異なる桜の植樹は、施設関係者により空きスペースに24本の早咲き河津桜を植栽された。イベント時の駐車場の拡張や貸出農園、足湯の拡張、休憩室等の施設整備は、利用者の要望を踏まえ、必要度や費用対効果などを考慮して計画の検討を行いたい。

また、稲葉山のロープウェイ建設は、相当大がかりであり、将来的な市の観光振興構想としたい。

## ◎「クロスランドおやべ」を活用した集客構想について

【問】展望タワーから眺める田園アートについて伺う。

【答】タワー周辺の田の所有者のご理解とご協力が必要であり、また、田植えや稲刈りを誰が行うかという課題もあり、実現の可否については慎重な検討が必要である。

【問】「恋人の聖地」のより一層の整備と若者交流事業の活性化について伺う。

【答】本年度は、恋人の聖地という魅力的なネーミングを生かし、空中カフェ、クロスカフェ、キャンドルアートなどを開催し、若者達が語り合い、交流を深めることができるイベントを企画・実施してきた。引き続きクロスランドおやべと協力し、恋人の聖地としての魅力を高めたい。オアシスの海周辺のハード面の整備は、有利な財源の確保を図り、ふさわしい環境づくりに努めたい。

【問】日本のミニSL路線の実現について伺う。

【答】常設路線は全国でもトップクラスの長さがある。トンネルや鉄橋、駅舎や踏切などの関連施設も充実しており、全国屈指のミニSL路線施設であると考えている。安全な運行が何より大事なことであり、適正な維持管理に努めたい。

## ◎小矢部東インター周辺の「ショッピングゾーン」構想について

【問】地理的優位性を持つ北陸の十字路を活用し、観光地へ向かう人々の休憩地として、オアシスの施設の整備構想について伺う。

【答】本市が通過点とならないよう市内に誘客できる施設整備や仕掛けは必要である。インター周辺への商業施設誘致のため企業訪問をしているが、金沢市・高岡市の商業施設の商圏と重複するなど、事業の採算性を考えると大変難しいとのことである。しかしながら、北陸地方で最も恵まれた高速道路の利便性を活用し、交流人口の拡大による地域活性化、賑わい創出のためにも、市長が先頭に立って企業誘致に努めたい。

## ◎第六次小矢部市総合計画にみる高校生によるアンケートについて

【問】石動高校、小矢部園芸高校及びとなみ野高校の2年生全員へのアンケートには、買い物、遊び場を求める意見が多かった。若者がイメージする、暮らしたい小矢部市、参加したいまちづくり活動、新しいまちづくりの方向に対する取り組みはどうか。

【答】アンケート結果によると、近年の高校生は、日常生活の利便性や生活環境の整備、祭りやイベントによる賑わい、地域間交流、雇用の問題、健康づくりに関心があり、重点を置いてほしい項目であった。この結果を踏まえ、第六次小

矢部市総合計画では、12の重点プロジェクトを設定し、それぞれ施策・事業で対応していく。

二期目においても、市民生活の質の向上に向けて、小矢部市が目指す将来像「魅力・安心・充実しあわせ おやべ」を推進したい。

## ◎おやべ型まちづくり1%事業のさらなる躍進計画について

【問】平成22年度は、参画団体75件、総勢一万一千八百名が「自分たちがつくり上げた小矢部市」という意識が持てた施策であろう。今後、ユニークで他市に類を見ない政策のさらなる実践姿勢を伺う。

【答】平成22年度で2年目となるおやべ型1%まちづくり事業は、全国各地から行政視察が相次ぎ、改めて協働のまちづくりへの各自自治体の意識の高まりとともに、本事業に対する関心の高さを認識している。常に市民の皆様方からご意見、ご要望を本事業にフィードバックさせるために、市民の代表や学識経験者などで構成する「おやべ型協働のまちづくり会議」を十分活用し、さらに多くの市民の方々が協働のまちづくりに参画しやすい事業になるよう努めたい。

# 一般質問

◎質問者 白井 中 議員

【問】当市役所に勤務されている臨時職員の状況とその待遇改善について伺う。

【答】職務内容や職種、勤務時間などをともに、他自治体との均衡を考慮し賃金単価を決定している。また、正規職員と類似の勤務内容、勤務体系であつて、相当程度の責任・困難性が認められる職種は、近隣自治体の賃金水準や正規職員の給与改定の状況等の推移を考慮し決定している。待遇の改善については、新年度予算編成の中で検討したい。

【問】専門職である保育士の臨時職員の待遇改善について伺う。

【答】臨時職員は本来、正規職員の補助的な業務を行うことを想定している。しかし、正規職員と類似の職務内容で勤務されている方もいるので、民間同業種への影響も考慮しながら、新年度予算編成の中で検討したい。

【問】保育所の運営に関して、今後の方向性と、さらなる民営化も視野に入れて検討してはどうか。

【答】保育所の入所時期は年々早くなるとともに、児童数も減少傾向

にある。保育所によっては、集団生活の維持そのものが懸念されている。平成22年3月に保育所統廃合・民営化検討委員会を再開し、これまで5回の会議を開催し議論されており、平成23年に入ってから答申される予定だ。外部評価委員会からも公立保育所の民営化を検討すべきとの意見書が提出されている。将来的な保育所体制のあり方の検討が必要である。

【問】専門の人材派遣職員の採用について伺う。

【答】平成22年度より市役所の案内窓口を一本化するにあたり、優れた接遇能力を有する人材を、また、図書館司書は、正規職員の退職に伴い、専門的な業務を行うことのできる人材を求め、人材派遣会社から受け入れた。継続的な派遣が可能とされる受付業務や図書館司書業務など専門的な業務に限定した上で、今後とも活用したい。

【問】臨時職員の採用は公正な採用を心がけるべきでないか伺う。

【答】市民の皆さんが採用関係に疑念をもたれることがないよう、公募で登録いただき、順次採用している。採用には透明性を常に確保して対応していきたい。

◎質問者 吉田 康弘 議員

【問】旧岩尾滝小学校及び岩尾滝保育所の跡地利用について伺う。

【答】平成22年1月に南谷地区振興会より跡地利用に関する要望書が提出され、5月から2回の検討会を開催した。野菜や山菜の漬物等の加工販売場として活用することの検証やスポーツ少年団の合宿等の宿泊施設としての活用を検討することを確認している。

【問】石動小学校全面改築に伴う、周辺道路の整備方針について伺う。

【答】市道山手学校線は、平成21年度に国道471号から学校下まで歩道を延伸した。学校側は、改築に併せて階段を設け、学校敷地内で歩行者空間の確保を検討している。

【問】並行在来線の運行要望について伺う。

【答】並行在来線は、富山県並行在来線対策協議会において、県と沿線市町村が経営形態について協議を行っている。国の考え方や基本方針が示されれば、現在の石動駅利用者がこれまで以上に不便にならないように、当協議会へ停車本数の維持などを働きかけたい。

【問】石動駅の付加価値をいかにして高めるのか伺う。

【答】石動駅は砺波地域における唯一の特急停車駅であり、すべての特急列車が停車するよう働きかけることは、並行在来線機能を高めることにつながる。また、駅周辺に駐車場を確保することにより、砺波・南砺市の方々も視野に入れたパークアンドライドを促進することで乗降客の増加につなげたい。

【問】県道浅地小矢部線の延伸拡幅整備について伺う。

【答】踏切箇所を含めた一般県道浅地小矢部線の終点である国道471号までの区間は、改良計画はないが、拡幅改良が必要と考えており、国、県、並行在来線運営会社と検討を進めたい。

【問】県道社内上野本線、浅地小矢部線の拡幅改良について伺う。

【答】平成25年度以降の計画は、西福町方向と南上野方向があり、緊急度や地元の合意形成を考慮し、県と協議しながら検討したい。

【問】石動駅南北自由通路の新設と南北エリアの整備について伺う。

【答】駅南北の一体化を図ることは、まちづくりのために重要と考えており、現在、橋上駅や駅南北広場の整備を含めた複数案のCGを製作するなど検討している。

# 一 般 質 問

◎質問者 藤本 雅明 議員

【問】一部地域では防災無線が聞き取りにくい状況で、不便だと報告があった。災害等の緊急時は一刻を争う事態も考えられる。緊急情報を携帯電話の防災メールという形で発信してはどうか伺う。

【答】防災行政無線は昭和58年に設置以来27年が経過し、老朽化が激しい上、聞き取りにくい場所があるため、防災行政無線の更新を総合計画で位置付けている。携帯電話やEメールの急速な普及により、情報提供の効果が大きいと考えられることから、その活用について十分検討したい。

【問】石動地区に子供や高齢者が身近で安全に楽しめる公園、ポケットパークがほとんど無い。街中の空き地を利用して設置する計画、予定があるのか伺う。

【答】石動市街地には都市計画公園が8箇所あり、また、石動駅南土地区画整理事業地区内に公園を配置する計画である。ポケットパークの設置は考えていないが、市民からの要望を把握した上で検討したい。

【問】市民の間で最近大変普及しているのがパークゴルフとグラウンドゴルフであるが、本市には施設がほと

んど無く市外自治体の施設を利用している。現在整備中の綾子河川公園でのパークゴルフ場の規模及び完成予定について伺う。

【答】規模については、9ホールを計画している。平成27年度を目標に整備中だが、財源の確保に努め、早期完成となるよう関係機関に対し要望していきたい。

【問】耕作放棄地、遊休地等の解消と利活用のため、市民農園を開設すれ

ばどうか。具体的には、道の駅周辺や石動駅周辺等利用しやすい場所に開設すれ

ばどうか伺う。

【答】本市では、J・Aいなばが管理運営しているピアゴ前など、「おやべ市民農園」が3箇所ある。市民の応募によって利用されているが、利用率が100%に至っていない状況なので、ケーブルテレビや市広報を通じて市民へPRしたい。また、市街地近郊の耕起のみで放置されている土地の利用をまずは市民農園の候補地として検討したい。

\*その他、次の質問がありました。

「健康都市日本一を目指す健康づくりプロジェクト」、「石動小学校改築工事のグラウンドの芝生化」、「食育推進計画、バイオマスターン計画」について

◎質問者 福島 正力 議員

【問】北陸新幹線の開通に伴い、高岡・金沢間の中間点である本市においては、将来的に企業として観光者が増加する可能性があるが、今後の対応について伺う。

【答】地域間競争に勝ち残るためにも、最寄りの新幹線駅となる新高岡駅と金沢駅へのアクセス向上のため、石動駅南土地区画整理事業を着実に実施し、併せて駅南北の一体化に向けて検討を進める。一方で、地域資源の魅力を増すことで、訪れてみたくなるような地域づくりや企業誘致にも積極的に取り組んでいく。

【問】並行在来線の乗車率向上を図り、収益増加のため石動・福岡間の新駅設置について伺う。

【答】石動・福岡間の新駅設置は、県内7つの検討箇所の一つである。新駅設置は石動駅乗客数の分散や、本市の賑わいの場の拡散にもつながることから、地元の見極め慎重に検討していく必要がある。

【問】道の駅の来場者が開業以来47万人を超えており、隣接地における商業店舗などの増加が見込め、市勢の発展が望める。国道8号線の用地取得、付帯構造物などが整備されてい

るので、4車線の開業も早くなるのではないかと伺う。

【答】国土交通省の平成17年度道路交通センサスによると、国道8号線の現状は円滑に走行でき交通渋滞も少ないとしている。また、4車線化に伴う中央分離帯の設置は、沿道関係者の同意が必要なことや小矢部川橋梁の建設など多くの建設費を要するため、土地利用の変化による交通量の増加等を綿密に調査して要望していきたい。

【問】「義仲・巴御前」の大河ドラマを進めているが、市道源平線は大型車が通行止めとなっている。道路の拡幅等により観光客のさらなる集積を図ってはどうか伺う。

【答】旅行商品の具体的提供や観光客の受け入れ体制を整備する観点から道路整備の要望がある。カーブ区間の拡幅、待避所の設置など整備が必要と考えているが、観光資源の保存や景観上からも十分に検討する必要がある。

【問】将来を担う青少年たちの活動費を増額・強化すべきでないか。

【答】助成金の増額は行財政改革の中、困難であるが、青少年育成団体の活動をいろいろな角度から支援し、健全育成に努めたい。

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】日本がTPPに参加しないことを小矢部市として明言していただきたいがどう考えているのか。

【答】TPP交渉への参加・不参加は、農業分野において経済提携に耐えられる対策を確立した上で、慎重に議論されるよう、市長会を通じて国及び関係機関に対して働きかけたい。また、関係機関と協力の上、情報収集に努め、市民の皆様にもお知らせしたい。

【問】下水道方式と合併処理浄化槽方式のどちらが効率的なのか。また、下水道方式で市内全域を整備するとあと何年かかるのか伺う。

【答】県が発行している事業手法別検討マニュアルに沿って、適正に整備手法の検討をすべきと考えており、方針としては見直し素案で示したとおり、経済性の面から下水道方式を中心に整備を進めたい。また、現在の事業ペースでは、完成まで50年以上かかることから、今後は事業ペーシングを上げて、今以上に整備進捗を図りたい。

【問】県は自治体への水道水の水道料金、供給量を向こう3力年を目標に引き下げることだが、本市の水

道料金の値下げはどうか。

【答】県企業局と関係4市で構成する県西部水道用水供給事業連絡協議会において、平成23年からの需給協定の見直しを進めている。水道料金の改定は、県企業局との具体的な量や額の決定後となるが、受水費削減が住民に還元できる受水料金の引き下げになるよう働きかけたい。

【問】現政権が幼稚園と保育園を一体なものとして、こども園を創ろうとしているが、地域、財政力の違いによって保育水準に差が出る。今でも先進国で最低水準の保育条件をさらに下回れば、子供の成長、命にも関わる大問題であるが、本市の考えを伺う。

【答】こども園は現政権の公約の一つとして平成25年度の実施が目標である。しかし、運営基準が不透明、利用者負担のあり方が不透明であり、企業参入により保育の質の低下が懸念されている。本市では情報の把握に努めるとともに、市長会を通じて国へ要望を伝えていく。

\*その他、次の質問がありました。  
「保育行政」「住宅リフォーム助成」「市営バスの運行改善」について



◎質問者 義浦 英昭 議員

【問】道の駅での農産物直売所の現状、今後の販売促進と他の農産物直売所との連携策を伺う。

【答】農産物売り場世話役会で、農産物の確保方法を話し合い、市内会員の増加、市外会員の登録許可、JAや他の農産物直売所との連携など、改善の意見が出ており、可能なものから実施する。今後は、売り場の品揃えの充実を図り、観光出向宣伝やインターネットなどの情報発信により、利用者の増加と売り上げ増に努めたい。

【問】農業特産物づくりの支援状況と今後の取り組みについて伺う。

【答】園芸産地ビジョンに基づき、市単独事業にて米政策改革推進助成事業に取り組んでおり、現在、麦、大豆、里芋、切り花、ニラ、カブ、ゴマを対象品目として育成支援している。その結果、作付面積が年々増加しており、成果を上げている。今後は、農業特産物の栽培や条件整備を支援していく。

【問】市民に身近な小矢部川は他の川にないものがたくさんある。小矢部川尺アユ釣り大会を継続して開催すれば、多くの釣り愛好家が来場する機

会となる。今後の取り組み方を伺う。

【答】平成22年9月に開催した大会には、県内外から33名の参加があり、優勝者は24.5センチの大物を釣り上げ、小矢部川並びに小矢部市を大いにPRできたと思っている。平成23年度の開催も決定しており、大会運営上の問題や課題について改善し、大会運営を充実させるとともに、釣り具メーカーのご協力を得ながら大会がさらに盛り上がっていくよう努めたい。

【問】全国的にも、図書館を駅周辺に設置することで、集客能力や活性化につながる成功例があるが、石動駅周辺での図書館の設置構想について伺う。

【答】本市では石動駅周辺の活性化と観光PR強化を目指し、平成21年12月に石動駅観光案内所を開設したことに伴い、市民図書館の予約本の受取や返却が可能となり、利便性を図ったところである。市内には図書館2館、図書コーナー1箇所あり、現段階でさらに整備することは大変困難である。石動駅観光案内所での図書の利用が少ない状況なので、さらに活用していただくようPRに努めたい。

一 般 質 問

◎質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】平成23年度より、「おやべ型まちづくり1%事業」の事業採択に際し、保険の全員加入は、市民の理解

が得られるのか。また、事業団体同士との交流、そして、交流がさらに活発なまちづくりにつながるようになりべきでないか。当事業は、3年間という見通しだが、今後の方針を伺う。

【答】保険の全員加入は、平成23年度事業分の変更点等の説明会、申請時の説明会での質疑応答で、概ね理解いただいている。また、団体間の情報交換の場は、さらなる相乗効果を生み出す事業展開も期待できることから、検討を進める。今後は、平成23年度の早い時期に見直しに向け協議を行いたい。

【問】観光戦略として、観光客へのおもてなしや誘導について伺う。

【答】石動駅観光案内所を開設するなど、観光案内所の整備、充実をはじめ、宿泊施設や観光施設に従事している方に、きめ細かい心のこもったサービスを提供してもらうため「おやべ観光ガイド等養成講座」を開設するなど、観光客受け入れ体制の充実を図っている。市街地やお食事処のマップの作成を検討し、観光客を

誘導したい。

【問】交流人口の促進するための観光パンフレット・ポスターの作成について伺う。

【答】観光資源を発信する上で、新聞広告やホームページでの紹介と並び、観光パンフレットの配布、観光ポスターの掲示は重要なことと認識しており、今後も観光客ニーズにあった情報発信に努めたい。

【問】木曾義仲・巴御前の浴衣を作れませんか。

【答】大河ドラマ誘致活動も本市の最重要課題であるので、浴衣の作成は今後のPR活動の一つの方法として検討したい。

【問】観光の名所である「クロスランドおやべ」の施設改修・修繕が必要である。施設管理者への指導の徹底について伺う。

【答】クロスランドおやべは、平成21年度から5年間、財団法人クロスランドおやべが指定管理者であるが、修繕が必要な箇所の改修等を含めて適正な維持管理がされるよう指導していきたい。

\*その他、次の質問がありました。

「新幹線工事に伴う労働者への助成・支援」「小矢部市における少子高齢化社会の危機感」について

陳情の処理状況

受理番号	件名 (陳情者)	審査結果
陳情第3号	小矢部市文化スポーツセンターに関する陳情書 (特定非営利活動法人おやべスポーツクラブ理事長 藤村道博)	採 択
陳情第4号	常設グラウンド・ゴルフ場設置に関する陳情書 (小矢部市メルヘン・グラウンド・ゴルフ協会会長 荒川昌夫)	採 択
陳情第5号	地域を支える建設業の健全化に向けた「公契約法(条例)」の制定を求める陳情書 (国土交通省管理職ユニオン北陸支部執行委員長 土肥和広ほか2名)	保 留
陳情第6号	直轄事業の継続と適正な維持管理、建設業の再建を求める陳情書 (国土交通省管理職ユニオン北陸支部執行委員長 土肥和広ほか2名)	継 続
陳情第7号	社会福祉に関する陳情書 (社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 宇佐見 外行)	採 択
陳情第8号	看護師不足解消のため、看護師等の夜勤改善と社会保障予算増額を求める陳情書 (富山県医療労働組合連合会 執行委員長 清水真有子)	保 留
陳情第9号	老人福祉に関する陳情書 (小矢部市長寿会連合会会長 平田清信)	採 択
陳情第10号	T P P 交渉参加反対に関する陳情書 (いなば農業協同組合代表理事組合長 岡田繁正)	採 択



# 委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

## 決算特別委員会

一点目は、行財政改革による人件費等の削減に伴い、真に必要とされる専門職員等が確保されず事業の円滑実施に支障を来すことが懸念されることから、人員の更なる適正配置に努めるとともに、臨時職員の活用を適切に行うため待遇改善等の条件整備を行うこと。

二点目は、補助金等の助成制度については、全職員への周知徹底を図り、市民が十分活用できるようにサービスの向上に努めること。

三点目は、歳出予算において、多額の不用額の発生が見込まれる場合には、早期把握に努め、予算の有効活用が図れるよう補正予算等での対応を積極的に進めること。

## 総務常任委員会

一点目は、近年、災害の大規模化・多様化に加え、少子高齢化の進展に伴う救急ニーズの高まりなど、消

防を取り巻く環境は大きく変化してきており、迅速かつ的確に対応して、消防の担うべき責任を確実に果たしていくことが求められる。平成二十三年四月一日に設置される砺波地域消防組合は、市民の将来にわたる安心安全の確保に大きな役割を果たすことから、構成市と緊密に連携し署所の配置など諸問題を確実に解決し、十分協議を重ね、組合運営を円滑に進め、市民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするよう強く要望する。

## 産業建設常任委員会

一点目は、JR西日本のダイヤ改正に伴い、乗降客が減少している石動駅に停車する特急電車が一本減ることになったことは、並行在来線を存続する上でも大きな問題である。市当局においては、早急に乗降客の拡大に向けた実効性のある取り組みを危機感を持って実施すること。

一点目は、現在、政府において参加が検討されている環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)については、高齢化等により衰退する日

本の農業を壊滅へと導く恐れがあり、具体的な農業強化策等の指針が示されないなかでの参加決定は、環境や国土の保全、食料安全保障など農林水産業が有する多面的機能を無視するものといわざるをえないものであり認められない。

また、平成二十三年産米の都道府県別生産数量目標の配分については、全国平均を大幅に上回るものとなっており、これまで国の生産調整に全面的に協力してきた県内稲作農家に対する配慮が全くなされていまいものとなっている。農林水産省では、備蓄米の優先入札枠を設定し、生産数量目標の減少率が大きい地域へ一定の配慮を行うということであるが、基本的な配分方法の見直し等について、県など関係機関と連携し、国に強く働きかけること。

二点目は、公共事業予算の削減は、地域の社会資本整備・維持に大きな影響を及ぼしている。厳しい財政状況のなかではあるが、災害時の応急・復旧対策、雪害対策等市民の安心安全に必要な不可欠な社会資本整備・維持に対し、平成二十三年度予算編成に

## 民生文教常任委員会

あたって十分配慮すること。

一点目は、指定管理者の選定基準による審査に際しては、効率的な管理運営は重要な判断材料ではあるが、利用者の意見や要望などの情報収集をもとに運営の改善を図り、利用者への更なる利便性の向上に十分配慮すること。

二点目は、小矢部市ケーブルテレビネットワーク施設の管理及び運営については、地上デジタル放送への確実な移行がなされるよう確認・検証を徹底すること。また、地域特性、歴史的背景、観光資源、地域の団体等の活動を十分考慮した企画番組等を積極的に放送するなど、放送番組の充実を図ること。さらに、運営管理の独立採算制を堅持しながらも、利用料金の引き下げを検討すること。

三点目は、建物を指定管理する場合は、指定した担当部課が指定管理者との面談や現地確認により、運営上の問題点や修繕箇所の確認など、定期的な実態調査を実施し、計画的な整備を図ること。

## 3月定例会の日程

太字はCATVの放送予定

- 1日(火) 本会議(提案理由説明) 全員協議会
- 2日(水) 全員協議会
- 3日(木) 全員協議会
- 4日(金) 議案調査日
- 7日(月) 議案調査日
- 8日(火) 議会運営委員会 本会議(代表・一般質問)
- 9日(水) 本会議(一般質問)
- 10日(木) 予算特別委員会
- 11日(金) 予算特別委員会
- 14日(月) 予算特別委員会
- 16日(水) 行財政改革特別委員会 民生文教常任委員会
- 17日(木) まちづくり特別委員会 産業建設常任委員会
- 22日(火) 総務常任委員会
- 23日(水) 委員長会議
- 24日(木) 議会運営委員会 全員協議会 本会議(質疑・討論・表決)

■ 会務報告

小矢部市議会の主な行事は、次のとおりです。

平成 22 年 9 月 25 日～平成 22 年 12 月 8 日

年月日	件名	摘要	開催地
22. 10. 4	高岡地区広域圏事務組合議会現地視察及び議員協議会	ごみ処理施設建設予定地現地視察（氷見市上田子地内） 議員協議会 ごみ処理施設建設事業等について	氷見市 高岡市
10. 6	富山県市議会議長会正副議長研修会	講演「猛将 木曾義仲」 倶利伽羅源平の郷土生口視察	おやべクロスランドホテル
10. 7～8	正副議長就任あいさつまわり	県選出国會議員、県東京事務所等	東京都
10. 9	議会報告会	議会基本条例制定について	農村環境改善センター
10. 13～21	全国市議会議長会 海外都市行政調査団派遣	地方自治制度、都市再開発及び環境保護政策等について	米国・カナダ
10. 15	まちづくり特別委員会	企業立地推進事業、及び石動駅南土地区画整理事業の概要について	第二委員会室
10. 21	民生文教常任委員会	ケーブルテレビのアナログホームターミナルサービスの終了について 市営バス運行ダイヤ改正について 石動小学校改築基本計画（案）について	第二委員会室
10. 22	総務常任委員会	旅費精算事務の適性化について 公共用地先行取得事業特別会計による用地の購入について	第二委員会室
10. 25～27	決算特別委員会	認定第1号平成21年度小矢部市一般会計歳入歳出決算から認定第8号平成21年度小矢部市水道事業会計決算まで、及び関係調書等の審査、並びに証書類の閲覧審査について	第二委員会室
10. 28	10月全員協議会	海外都市行政調査報告 行政委員会等の会務報告 報告事項（5件）	第一委員会室
11. 4～5	まちづくり特別委員会行政視察	防府駅でんじんぐち第一種市街地再開発事業について 坂出駅周辺整備主要プロジェクト関連「市民広場整備事業」について	山口県 防府市 香川県 坂出市
11. 8	全国高速自動車道市議会協議会第1回理事会	「高速道路をめぐる現状について」情勢報告 平成21年度会計決算について 高速道路建設促進に関する要望について	東京都
11. 8～9	行財政改革特別委員会行政視察	公金徴収の一元化について 各部の運営目標について	千葉県 船橋市 福島県 白河市
11. 11	産業建設常任委員会	平成22年度除雪実施計画について	第二委員会室
11. 12	行財政改革特別委員会	市有財産現地調査（4ヶ所）	第二委員会室
11. 15	全国市議会議長会第123回地方財政委員会	講演「平成23年度地方財政、及び地方税制の課題について」 地元選出国會議員へ要望書提出	東京都
11. 16～18	「立山の塔」慰霊行事	南方戦没者沖縄慰霊塔奉賛会	沖縄県 糸満市
11. 18	議会運営委員会	11月小矢部市議会臨時会議案第39号について審議 議会基本条例の見直し	第二委員会室
11. 26	議会運営委員会	11月小矢部市議会臨時会議案第39号の、発言通告及び採決方法について審議	第二委員会室
	11月全員協議会	議案第39号について 行政委員会等の会務報告 報告事項（6件）	第一委員会室
11. 26	11月小矢部市議会臨時会	議案第39号審議	本会議場
12. 1	議会運営委員会	12月小矢部市議会定例会 議案第40号から議案第50号、認定第1号から認定第8号の発言通告、採決方法及び陳情（6件）付託について審議	第二委員会室

■ 市外からの行政視察

市外からの行政視察を次のとおり受け入れました。

(8件 76名)

年月日	視察者	視察項目	人数
22. 9. 29	埼玉県 深谷市議会行政視察（議会運営委員会）	議会運営について 議会改革の取り組みについて	13名
10. 12	山口県 周南市議会行政視察（議会運営委員会）	議会運営について 議会改革の取り組みについて	10名
10. 13	沖縄県 糸満市議会行政視察（総務常任委員会）	「おやべ型1%まちづくり事業」について	9名
10. 14	岐阜県 養老町議会行政視察（産業建設常任委員会）	環境保全（おやべ環境保全対策プロジェクト）について	11名
10. 19	滋賀県 米原市議会行政視察（総務教育常任委員会）	地域おこし協力隊について 定住促進への取り組みについて	8名
10. 27	大分県 国東市議会行政視察（総務常任委員会）	「おやべ型1%まちづくり事業」について	9名
	福島県 須賀川市議会行政視察（会派）	定住促進助成金について	8名
11. 10	大分県 由布市議会行政視察（総務常任委員会）	行財政改革（労働コスト等）について	8名

編集後記

石動小学校改築基本設計の原案が市当局より示されました。本市は主に西洋の伝統建築様式を用いた公共建築により、「メルヘンのまち」として県内外に知られており、それらを総合的に考慮され、平成25年度末の完成目指して本年度いよいよ着工する予定です。

市議会としては、心豊かで心身ともにたくましい人づくりを目指し、豊かな自然や地域社会の資源を生かし、子供たちが安全で安心して活動できる学舎としての教育環境の整備が着実に進められるよう、また、市民に広く愛される施設になることを大いに期待いたします。

次回の「議会だより」は、平成23年5月の予定です。  
（議会だより編集委員一同）